

中学校2年・国語

実践名：「情報社会における自分の責任や義務について考える」

中学校第2学年 国語科学習指導案

日 時：平成23年10月28日（金）

場 所：玉陵中学校 第2学年教室

授業者：教諭 坂西 由美

1 題材名 「意見文を書こう」（三省堂 現代の国語2）

2 題材について

（1）題材のねらい

本題材は、新学習指導要領、第2学年の目標（3）「目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。」を受けている。

毎日の生活の中で、自分の意見を人に伝えなければならない場面は多い。相手に分かりやすく伝えるためには、まず、自分の立場を明確にする必要がある。しかし、根拠のない意見や明確な事実に基づいていない意見では、読み手を納得させることはできない。そこで、論の説得力を高めるために、意見を支える確かな根拠や具体例を提示することが必要になってくる。

本題材では、「書くこと」言語活動例のイ「多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く」を通して、明確な意見文を書くためのポイントについて学ぶ。今回は、資料から読み取ったことをもとに、「携帯電話との付き合い方」というテーマで意見文を書かせる。情報をもとに意見を交換したり、書いた作品を交流したりする活動を取り入れることで、自分の考えをより確かなものにし、考えを広げたりすることができると思う。

（2）本題材の系統は以下の通りである。

1年	2年	3年
「体験文を書こう」 伝えたい話題を明確にして、読みやすくわかりやすい文章を書く。	「意見文を書こう」 自分の立場を決め、意見が効果的に伝わるよう根拠を明らかにして書く。	「主張文を書こう」 多様な立場から意見を想定し構成を工夫して説得力のある文章を書く。

（3）生徒の実態について（生徒数 35名）

本学級は、落ち着いた学習態度で、課題に真面目に取り組む。しかし、自ら進んで発言したり質問したりするのは苦手である。

以下は、「書くこと」に関するアンケート結果である。

①文章を書くのは好きですか。

ア、好き 名 イ、やや好き 名 ウ、あまり好きではない 名 エ、嫌い 名

ア・イの理由

ウ・エの理由

②「書くこと」でどんな活動（文章の種類）が好きですか。（複数回答）

③書きにくい（困っている）のはどんなことですか。（複数回答）

書く内容が思いつかない。（人） 構成が難しい。（人）

書き出しが分からない。(人)
字数制限。(人)

表現の工夫が難しい。(人)

(4) 指導にあたっては、以下のことに留意する。

- ア 生徒の身近な話題から、「携帯電話とのつきあい方」をテーマに設定する。
- イ モデル文を活用し、相手に分かりやすく伝えるためのポイントや、構成・書き出しのパターンを示していく。
- ウ 自分の立場を明確にし、自分の体験や事実、資料のデータ、予想される反論などを入れることで根拠をより明らかにさせる。
- エ あらかじめ、テーマに関する資料・データを教師側でいくつか準備しておく。
- オ 意見交換の時間を設け、良い点を認めたりアドバイスをしたりすることで、自分の考えを見直し、自分の表現に役立てていけるように支援する。

(5) 情報モラル教育の視点から

- ア モデルカリキュラムの目標1「情報社会の倫理」、項目 a4-1「情報社会における自分の責任や義務について考える」との関連を重視して展開する。
- イ 資料を読み取りながら意見文を書かせ、携帯電話のマナーを守ることや有害サイトの危険性から身を守ることなどを学びとらせ、よりよいつきあい方について考えさせるようにする。

(6) 人権教育の視点から

- ア 自分の考えを、自信をもって発表できるような雰囲気づくりに努める。
- イ 他の人の意見も尊重しながら、ともに学習しようとする態度を育てる。

3 題材の目標

- (1) 題材について、自分の立場を明確にして意見をもとうとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 意見を支える根拠を明確にし、構成を工夫して600字程度の文章にまとめることができる。(書くこと イ)
- (3) 文章を読み合い、構成や意見の述べ方などのよいところを自分の表現に役立てる。(書くこと オ)

4 題材の指導計画(7時間扱い)

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価項目(方法)
1	1	<ul style="list-style-type: none">・ 学習の見通しをもつ。・ 携帯電話についてイメージすることを書き出す。	<ul style="list-style-type: none">・ マッピング法で、自由に意見を出させる。	<ul style="list-style-type: none">・ テーマについて、自分の考えをもとうとしている。(観察)
2	2	<ul style="list-style-type: none">・ モデル文をもとに意見文の書き方、構成を知る。	<ul style="list-style-type: none">・ 意見文の構成の基本パターンを紹介する。	<ul style="list-style-type: none">・ 意見文の構成を理解し、自分の表現に生かそうとしている。(観察)
	3 本時	<ul style="list-style-type: none">・ 資料や自分の体験をもとに、自分の立場を決める。	<ul style="list-style-type: none">・ 関連する資料や新聞記事を用意しておく。・ 資料をもとに、意見の根拠となる事実を抜き出させる。	<ul style="list-style-type: none">・ 自分の立場を一文で書くことができる。(ワークシート)
	4	<ul style="list-style-type: none">・ 意見の根拠となる事実や具体例をカードに書き出す。	<ul style="list-style-type: none">・ 根拠を支える具体例として、事実や自分の体験、数値などを入れるとよいことを説明す	<ul style="list-style-type: none">・ 事実、体験、データなどから必要なものを選び、根拠を書くことができる。(ワークシート)

	5	<ul style="list-style-type: none"> 異なる立場の反論を予想し、それに対する意見を考える。 モデル文の比較をする。 根拠カードを読み合い、アドバイスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導で、個別の支援を行う。 比較しながら交流の観点を押さえる。 グループで交流し、アドバイスや気づきを付箋に書いて渡すようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と異なる立場の意見を予想することができる。(ワークシート) 交流したことを自分の表現に生かそうとしている。(観察)
3	6	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を仕上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> カードを並び替え、文の組み立てや接続語の使い方などを意識して丁寧に書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を明確にし、構成を整えて意見文を書くことができる。(意見文)
	7	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を読み合って交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き進まない生徒には机間指導で、個別の支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流で、自分の考えを広げる。(観察・ワークシート)

5 本時の学習 (3/7時間)

(1) ねらい

資料の事実やデータを参考に、自分の立場を決め、一文で書くことができる。

(2) 展開

過程	学習活動と主な発問・指示	予想される生徒の反応	指導上の留意点と評価
導入 10分	1 本時の学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話とのつきあい方について意見文を書くんだな。 ・マッピング法で書き出したものを見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機能や問題点など書き出したものを発表させ板書する。 ・プラス面マイナス面両面があることをおさえておく。
	資料を読んで、意見の根拠となる事実やデータを書き出そう。		
展開 35分	2 資料を読んで、わかったことを書き出す。 ○資料から、わかったことを学習シートに書き出そう。 ○書き出したものを発表しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料にはどんなことが書いてあるのだろう。 ・資料に一通り目を通す。 ・資料から読み取ったことを書き出す。 「携帯電話の所持率は・・・」 「一日の使用時間は・・・」 「利用状況は・・・」 「どんなトラブルがあるか」 「フィルタリング・・・」 「出会い系サイト関連事件」 ・発表する。 「資料①では・・・」 「資料⑧では・・・」 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に活用できるような資料を準備しておく。 ・マッピング法で書き出したものが正しいか資料と対応させてみる。 ・資料や新聞記事などを準備しておく。 ・机間指導で、生徒の書いたものを確認しておく。早くすんだ生徒は、隣の生徒と交流させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【評価①】 ○資料からわかった事実やデータを3つ以上書き出すことができる。(ワークシート) </div>
	3 自分の立場を決める。 ○自分はどのような立場で、意見を書くのか決めよう。 ○書いた文を発表しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料やマッピング法で書き出したものを参考に、自分の立場を考えている。 「中学生には必要ない」 「家庭でルールを決めるべき」 「マナーを守って活用する」 「フィルタリング機能を活用する」 ・発表する。 「ぼくは、・・・と書きました。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・賛成派も便利性、機能性ばかりの主張にならないように配慮する。 ・自分の立場を一文で表現させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【評価②】 ○自分の立場を決め、一文で書くことができる。(ワークシート) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・時間を見て、数名紹介する。
終末 5分	5 本時を振り返り、次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の立場が一文で書けた。 ・どの事実やデータを根拠に使おうか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感が味わえるよう、書いたものを認め合う雰囲気を作る。

6 モデルカリキュラムの位置づけ（中学2年）

情報モラル	道徳、各教科・特別活動 他
a4-1：情報社会における自分の責任や義務について考え、行動	国語「意見文を書こう」 携帯電話との付き合い方、マナーについて考える。 技術「情報とわたしたちの生活」 電子メールを送信するときの留意点をまとめる。
b 4-1：個人の権利（人格権、肖像権など）を尊重する b 4-2：著作権などの知的財産権を尊重する	技術「情報とわたしたちの生活」 情報伝達の安全性とマナーを考えよう 技術「情報とわたしたちの生活」 情報デジタル化と著作権について考える
c 4-1：違法な行為とは何かを知り、違法だとわかった行動は絶対に行わない c 4-2：情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る c 4-3：契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する	技術「情報とわたしたちの生活」 コンピュータ犯罪の深刻さを理解する。
d 4-1：安全性の面から、情報社会の特性を理解する d 4-2：トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る	国語「意見文を書こう」 携帯電話との付き合い方、マナーについて考える。 技術「情報とわたしたちの生活」 コンピュータ犯罪の深刻さを理解する。 技術「情報とわたしたちの生活」 安全に興味を持ち適切な情報処理を考えることができる。
e4-1：情報の信頼性を吟味できる e4-2：自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識を持って行動できる	技術「情報と私わたしたちの生活」 ユーザーIDやパスワードの設定の仕方、役割を知る。
f 4-1：健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し行動できる f 4-2：自他の安全面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる	技術「情報とわたしたちの生活」 安全に興味を持ち、適切な情報処理を考えることができる
g 4-1：情報セキュリティの基礎的な知識を身につける	技術「情報とわたしたちの生活」 個人情報の保護、コンピュータ犯罪の深刻さを理解する。
h 4-1：基礎的なセキュリティ対策がたてられる	技術「情報とわたしたちの生活」 ユーザーIDやパスワードの設定の仕方を学ぶ
i4-1：ネットワークの公共性を意識して行動する	技術「情報とわたしたちの生活」 ネットワーク上のコミュニティに適切な参加ができる